



「改革」を看板に  
くらしを切り捨て、民主主義をマコわす

「既得権益とたたかう」「決定できる民主主義を実践していく」——「維新」の勇ましい言葉に政治が変わるのではと期待された方もおられるでしょう。

実際は、権力におもねる一方、意見の違う市民や団体に「既得権益」のレッテルをはり、「ぶつつぶす」と攻撃し、くらしと中小企業を切り捨てる府・市政がすすめられています。

「国とケンカしてでもやる」!?

民主党政権時にはありましたが、今は「補完政党」ぶりが鮮明

国とケンカしてでも「改革」といいます。確かに民主党政権時には消費税や原発をめぐる批判したことはありました。

しかし、最近ではケンカどころか、政権にすりよって大阪市をなくす「都構想」への支援を懇願しています。さらに、「おおさか維新」の結成では「政権との協調路線を前面に出す」「補完政党」との指摘がされています。



「身を切る改革」って!?

政党助成金の分捕り合戦、政務活動費の不正……

「維新」は、「身を切る改革」を宣伝。ところが、「維新」の府、市会議員の政務活動費の不正使用が続出しています。

さらに、「維新の党」の分裂騒動では、政党助成金の分捕り合戦をし、通帳と印鑑の奪い合いまでしています。「おおさか組」が住民投票時の借金5億円の返済や、ダブル選挙に使うため泥仕合になっていると言われています。“税金だのみ”は橋下市長が批判する「既成政党」以上です。

しかも、「身を切る改革」の名でくらしと中小企業支援の切り捨てがすすめられています。こんな「維新政治」には、キツパリ「さよなら」しましょう。



政務活動費の不正使用ゾロゾロ

- 発行していないチラシの配布代金
- 高級車「レクサス」のローン代
- 子どもの幼稚園送迎の人件費
- 大学の入学金
- ゴルフコンペの景品
- ダイソンの掃除機
- 電動アシスト自転車

「決定できる民主主義」!?

不毛の対立あおり、政争に明け暮れ

橋下市長は、「強制的に物事が決まるルールをつくらないと、政治の場は物事が決められない」と言ってきました。大阪府、市政では議論を通じてすすめるという民主的なルールを壊し、意見の違う人を排除する独裁的な政治がすすめられました。「都構想」に向けた不毛の対立に明け暮れ、高齢者対策や子育て支援など、今、全国の自治体が取り組んでいる当たり前の施策がおろそかにされてきました。



広がる共同の声



まじめな、まっとうな  
府政・市政を  
実現しましょう!

元 大阪市立小学校長  
西林 幸三郎さん

橋下さんが知事になり大阪市長になって、大阪の教育は「橋下独裁教育改革」で破壊されました。彼が任命した公募校長は、初年度11名のうち6名までが醜聞で新聞沙汰になっています。学校予算(維持運営費)も大幅にカットされるなど許しておけません。橋下さんの傀儡人形のような知事さん、市長さんは要りません。真面目で、まっとうな教育を推進する知事さん、市長さんを選出し、全国に誇れる素晴らしい大阪の教育を取り戻しましょう!